

令和3年度第1回「防府市農林業政策懇話会」 議事録等

■開催日時・場所

令和3年10月22日（金）午後3時から午後4時30分まで
防府市地域協働支援センター 多目的ホール

■次第

- 1 主要事業等に関する情報提供
 - (1) 「防府市農林業政策懇話会」での意見等について
 - (2) 第5次防府市総合計画 重点プロジェクト 農林業分野について
 - (3) 「農林業の知と技の拠点」の形成について
- 2 防府市の農林業を活性化する提案等について

■配布資料

	資料名	番号
1	防府市農林業政策懇話会での意見及び提案等一覧	【資料1】
2	第5次防府市総合計画 重点プロジェクト 農林業分野について	【資料2】
3	「農林業の知と技の拠点」施設整備について	【資料3】
4	農道牟礼小野線整備事業の進捗状況について	【資料4】

■委員等出席者名簿

敬称略・順不同

種別	氏名	所属／品目	出欠
会長	池田 豊	市長	出席
農林業関係団体	吉武 康彦	山口県農業協同組合防府とくち統括本部長	出席
	戸田岸 巖	山口県中央森林組合 組合長	出席
	藤井 伸昌	防府市農業委員会 会長	欠席
	原田 慎司	山口県農協青壮年部	出席
流通関係団体	吉武 健志	(株)ユアーズバリュー代表取締役社長	出席
	荒瀬 正則	防府市野菜出荷組合 組合長	出席
農業関係者	岡本 拓実	(株)ファーム大道 代表取締役社長	出席
	矢部 洋子	施設野菜	欠席
	吉次 英哲	果樹	出席
	柳 俊則	花き	欠席
	池田 英雄	畜産	出席
消費者	阿部 幹恵	防府市生活改善実行グループ連絡協議会 会長	出席
公募委員	中山 博祐		出席
	蓑島 啓子		出席

■会議録

1 主要事業等に関する情報提供

- (1) 「防府市農林業政策懇話会」での意見等について
- (2) 第5次防府市総合計画 重点プロジェクト 農林業分野について
- (3) 「農林業の知と技の拠点」の形成について
 - ・事務局から資料にて説明

2 各委員による意見

- | | |
|-----|---|
| 会長 | 忌憚のない御意見をいただきたい。 |
| A委員 | コロナに関する各種支援事業のお知らせ文書の送付について感謝する。
「天神みかん」の栽培を頑張っているが、柑橘農家の高齢化に伴い天神みかんブランドが途絶えるのではないかという危機感を持っている。市にも「天神みかん」の糖酸検査の様子や生産現場を見てもらいたい。 |
| 会長 | 高齢者が多いということなので、「天神みかん」のブランドを守るためには、若手柑橘農家に頑張ってほしい。市においても昨年度、天神みかんの贈答用パッケージを作成するなどブランド力の向上に取り組んでいるところ。また、是非、生産の現場を見させて欲しい。 |
| B委員 | 家が農家で田の管理を地域の集落営農法人にお願いしたが、今年は耕作してもらえなかった。理由が知りたい。 |
| 会長 | 状況が分かれば事務局から説明してください。 |
| 事務局 | 個々の集落営農法人の経営の内情について、事務局では把握していない。 |
| C委員 | 集落営農法人は年配の方が多いため、耕作面積を増やすことは簡単ではない。自分も法人を経営しているが新規就業者が入りやすい環境をつくり若手を育てていきたい。 |
| 会長 | 現在整備が進んでいる「農林業の知と技の拠点」には土地利用学科が新設されるので、卒業生が防府の法人で雇用されることを期待している。 |
| D委員 | 畜産の飼料が高騰しており、外国産は品質が安定していない。牛の粗飼料となる国産の牧草の作付けを防府で頑張って欲しい。20ha分の牧草があっても消費ができる。牛の糞を堆肥として提供し循環できれば理想的である。できるだけ防府の牧草を飼料として使っていきたい。 |

- 会長 | 防府の牧草が飼料となって新鮮な牛乳が生産され、堆肥となって循環できればそれに越したことはない。
- E 委員 | 防府の新規就農者は何人いるのか、続いているのか。市では野菜のブランド化を推進しているが、防府で生産される野菜のうち出荷量が多いのは何か。また、三田尻は塩の産地として知名度があるので、塩を使った物産を売り出してはどうか。
- 会長 | 新規就農者が離農しないよう県や市の支援制度を整えているので、定着が進んでいると考えている。人数は事務局に答えさせる。農産物の生産は耕地の広い地域にはかなわないかもしれない。塩のPRは9月議会でも質問があり、方策を検討しているところ。
- F 委員 | 山口県内で防府が一番の産地となっている野菜はない。JAで特産物を作ろうと頑張っているが生産量が少ない。他市と同じように、防府でも担い手の高齢化により耕作放棄地が増え土地が荒れているので、一人でも農業者を増やして育てていきたい。拠点の形成を契機にJAも本市農業が山口県の中心となるように取組んでいきたい。
- 会長 | 事務局から新規就農者の数についてお願いします。
- 事務局 | 新規就農者への支援制度改正後、補助金を活用した就農者は毎年1名程度、今年度は11月に1名が葉物で就農を予定している。改正後の制度活用者は25名程度で、離農者は2割程度。
- A 委員 | 防府は農産物を栽培しやすい自然環境だと思う。新規就農者を増やすためには売り先の確保が大切だと思う。
- 会長 | どういう形がいいのかを検討していきたい。
- G 委員 | 小売の現場で天神みかんは好評なので生産者のバックアップを続けて欲しい。また、コロナの影響が長引くなかで流通が滞ることもあり、地産地消を進めていくことは大切だと考えている。引き続き地産地消を推進して欲しい。
- 会長 | 考えていきたい。
- H 委員 | 防府全域の農業や農村風景を守っていくのは厳しいと感じている。防府として農業や農村風景を守る地域を決めて、支援の選択と集中を行っていく方が良いのではないかとと思う。

- 会長 | 防府の農業、工業、観光等のそれぞれの良さをしっかり出していききたい。
- C委員 | トビイロウンカ防除対策に対する市からの支援に感謝する。また、市の事業を活用し導入したドローンにより地域の水稲防除に大きな効果を上げることができた。
- 会長 | スマート農機等を活用して農作業の省力化を進め、地域農業を守って欲しい。
- I委員 | コロナの影響で外食が減っているため、品質の良い農産物を出荷しても値段がつきにくい。品質の良い農産物を生産し強いJA共販をつくっていくことが、農業者の定着につながると思う。
- 会長 | 市場や流通等、全体がうまく回るようにしていかなければいけないと思う。
- J委員 | 林業は木を植えて育て、育てたものをどう使うかが大切だと思う。公共建築物等木材利用促進法が制定されたことにより、木材の利用が約10%上昇した。民間の商業建築物でも木材を使用したものが増えてきている。2050年のカーボンニュートラルの実現に貢献するために、木材を切って、育てて、植えるという森林資源の循環が重要になってきており、防府市でも県産木材を利用して欲しい。
また、林業従事者が減少しているので、森林組合として待遇改善、機械化、ICTの活用等に取組んでいきたい。
拠点の整備によって林業指導センターが統合されるので、農林大学校にしてもらいたい。農大での教育で林業機械が使えるようになれば、森林組合でも受入れやすい。
- 会長 | 市ではアスピラートに県産木材の使用を検討している。森林環境譲与税を活用して森林資源を守っていききたいと考えている。
- A委員 | 柑橘栽培では、日照条件を改善するため隣接する山林の手入れが必要だが、手間や経費がかかっている。
- 会長 | 私は天神みかんを推しているのですが、柑橘農家の方が苦勞されている生産現場をぜひ見せて欲しい。
- K委員 | 新規就農者確保のための支援はありがたい。来年度は国の制度も変わると聞いているので期待している。また、近年、環境にやさしい循環型農業が着目されている。私も堆肥の使用などにより資源の再活用に取り組んでいる。
- 会長 | 新規就農者の確保に繋がるようしっかりと国の制度改正に対応していきたい。また、堆肥の使用については環境負荷の低減や資源の循環に大きな効果がある。引き続き取組

を進めてほしい。

H委員

市の木育推進事業で子供に県産材の積み木をいただいた。今後は茶碗等の実用的な物の贈呈も検討してはどうか。

会長

参考にしたい。

閉会